

児童室だより No. 86(2014. 1発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだものがたり・ちしきの本

本の情報	内容
<p>『とうふができるまで すがたをかえるたべものしゃしんえほん 1』</p> <p>宮崎祥子構成・文 白松清之写真 岩崎書店 2013.11 【小低】</p>	<p>とうふ屋さんは、とうふを作るために前の晩から、たくさん の大豆を水にひたしておきます。一晩のうちに、大豆は水を たっぷりすって、2ばいの大きさにふくらみます。大豆が 「もめんどろふ」になるまでを、写真とたのしい言葉で追い かけています。豆乳、おから、厚揚げ、油揚げなどができる までについても、紹介しています。</p> <p>(J619-ミヤ-1110742900)</p>
<p>『ただいま！マラング村』</p> <p>ハンナ・ショット作 佐々木田鶴子訳 齊藤木綿子絵 徳間書店 2013.9 【小低～小中】</p>	<p>幼いツソとお兄ちゃんは、おばさんの家に身を寄せていま すが、食べ物もろくにももらえません。ある夜、ついにお兄ち ゃんはツソを連れて家出をします。ところが、ツソはお兄ち ゃんとはぐれてしまい、さまよい歩くうちに、路上で暮らすこ とになってしまいます。家族の記憶がおぼろげになったこ ろ、ツソはボランティアをしているシスターに行き会い、寄 宿学校で生活できるようになります。その数年後、成長した ツソは故郷の村を訪ねます。実話にもとづいた物語です。</p> <p>(J943-シヨ-1110715144)</p>
<p>『ひみつの花便り』</p> <p>田村理江作 高山まどか絵 国土社 2013.9 【小中】</p>	<p>花音は小学5年生。ある出来事をきっかけに、なずなさんとの 文通が始まりました。花音は、最近、仲良しの友だちにたい して「何かちがうな」と感じることもあるのですが、仲間は ずれになるのがこわくて、それを口にするのができません。 そんな気持ちを、なずなさんには手紙で伝えることができ るのです。なずなさんは、いつも丁寧な返事で花音をはげ ましてくれます。手紙のやりとりを通して、成長していく花 音の姿が描かれています。</p> <p>(J913-タム-1110708524)</p>
<p>『マッティのうそとほんとの物語』</p> <p>ザラー・ナオウラ作 森川弘子訳 岩波書店 2013.10 【小中】</p>	<p>マッティは、無口なパパ、エネルギー満ちたママ、幼稚園に 通う弟と、ドイツに暮らす小学5年生。パパの故郷であるフィン ランドに行きたいマッティは、フィンランドにある家具付 き一軒家が当選したという嘘の手紙を作り、両親をだまして しまいます。それを信じた両親は、仕事も家具も車も手放 し、一家は全てを失います。やむなく親戚の家を頼るので すが、そこでも……。家族の願いがかなうまでの波瀾万丈を楽し く描いた物語です。</p> <p>(J943-ナオ-1110742802)</p>
<p>『よかたい先生』</p> <p>三枝三七子文・絵 学研教育出版 2013.8 【小中～小高】</p>	<p>今から約50年前におこった水俣病。事件があったことは学び ますが、患者や家族がひどい差別を受けて苦しんできたこ と、まだ病気が治らない人がいて裁判が続いていることにつ いては、あまり伝えられていません。この本では、熊本県の 医師で、水俣病をはじめとする公害病に対して、常に患者側 に立って戦ってきた、原田正純先生の活動を紹介していま す。立場がちがってもわかり合う努力をするため、思いやり と想像力を育てて欲しいという、原田先生からのメッセー ジも書かれています。</p> <p>(J289-ハラ-1110700132)</p>
<p>『てのひら咲いた』</p> <p>別司芳子著 文研出版 2013.10 【小中～小高】</p>	<p>菜月のお母さんは小学校の先生をしています。今年度から、 菜月とお母さんは同じ学校へ通うことになりました。菜月は 6年生。お母さんである玲子先生は、5年2組の担任となり ました。5月、5年2組の女の子のランドセルが傷つけられ る事件が起き、問題児である隼人が疑われます。心を閉ざす 隼人でしたが、真摯に向き合ってくれる玲子先生に対して心 を開いていきます。事件の犯人が分からないまま、玲子先生 は体調を崩し入院します。そんな中、菜月は、ある告白をす るのでした。</p> <p>(J913-ヘツ-1110745500)</p>

本の情報	内容
<p data-bbox="343 230 555 264">『12種類の氷』</p> <p data-bbox="292 304 608 465">エレン・ブライアン・オベッド文 バーバラ・マクリントック絵 福本友美子訳 ほるぷ出版 2013.9 【小高】</p>	<p data-bbox="715 224 1396 443">秋がおわりに近づくと、バケツに最初の氷が見つかります。氷はだんだんあつくなり、本格的な冬のおとずれとともに、畑や小川が氷り、庭にスケートリンクができます。畑の氷、小川の氷、リンクの氷、牧場の氷…冬の青い空の下、きらきら光る氷の上で、わたしたちは思うぞんぶんスケートをすべるのです。季節の移り変わりとともに、12種類の氷でスケートを楽しむ家族の生活を、美しいイラストとともに描いています。</p> <p data-bbox="1157 472 1396 495">(J933-オハ-1110727065)</p>
<p data-bbox="296 551 603 584">『ずっと空を見ていた』</p> <p data-bbox="325 640 574 701">泉啓子作 丹地陽子絵 あかね書房 2013.9</p> <p data-bbox="411 741 488 763">【小高】</p>	<p data-bbox="715 515 1396 757">理央は、母、弟、祖母と暮らしています。幼い頃に両親は離婚しましたが、現在の家族4人で穏やかな日々を送って来ました。でも、最近心は痛めています。母には再婚や転勤の話があるようです。それに、隣に住む幼なじみの真吾が引きこもってしまい、真吾の家族がバラバラになりかけているのです。家族ぐるみで親しくしていた真吾の家族が元通りになって欲しいと願う理央ですが、どうしてよいのかが分かりません。そんな時、クラスに転校生がやってきて、理央の周囲が変わりはじめます。</p> <p data-bbox="1157 775 1396 797">(J913-イヌ-1110722757)</p>